

断熱するほど省エネで快適になる

Q1.0 ゼロ・エネルギー住宅

完成見学会（要予約）

国土交通省「住宅のゼロ・エネルギー化推進事業」

日時：12月6・7日（土・日）10時～17時

場所：北上市上野町2丁目（上野町中央児童公園の西）（有）日高見工務店

Tel 0197-62-3377

Mail hitakamik@vega.ocn.ne.jp

主な仕様

熱損失係数Q値=0.82W/m²K、壁210mm断熱、トリプルガラス樹脂サッシ、第1種熱交換換気、ハニカム断熱ブラインド、太陽光発電

オール電化 ヒートポンプ低温水パネルヒーター、堀こたつ



案内図

詳細図



エネルギー価格は今後も上昇を続けます。

昨年、電気代が約 20%値上がりしました。特に夜間電力は約 30%も上がっています。

オール電化で安い電気代を享受してきた人も、いきなり 5 万、6 万という電気代を請求されて驚く人が続出と聞いています。灯油代もガソリン代も大幅に上がりました。新興国のエネルギー需要増大と資源不足により、エネルギー価格は今後も上昇を続けると予想されています。

ランニングコストを抑えるため、地球温暖化防止のためにも、住宅の省エネ化は重要です。

断熱するほど省エネで快適になります。

住宅は高性能にするほど省エネになり、かつ快適になることがわかっています。岩手のような寒冷地では、建物の高性能化がとても重要です。弊社はドットプロジェクトに参加し、熱損失係数 Q 値 1.0W/m²K 以下の超高性能住宅の建設を行なっています。Q 値 1.0W/m²K の家は、暖房エネルギーが次世代省エネ基準の家の約 1/3 ですみ、とても快適です。



内にも外にも 105mm の断熱材。
合計 210mm 断熱。

国土交通省の「住宅のゼロ・エネルギー化推進事業」

ゼロ・エネルギー住宅とは、家の消費エネルギーが太陽光発電による創エネより小さくてすむ住宅です。住宅の高性能化、省エネ設備の導入、日射や風などの取り込みなど、省エネルギーを徹底的に追求し、太陽光発電の導入で実現します。国は 2020 年までに一般的な住宅をゼロ・エネルギーにする工程表を作成しています。国土交通省は「住宅のゼロ・エネルギー化推進事業」を 3 年前から始めましたが、弊社は 3 年連続で採択されています。

建築費増もランニングコスト減でお得。

次世代省エネ基準の家に比べても、断熱は 2 倍、サッシがトリプルガラス、熱交換換気などで建築費は増加します。しかしランニングコストについては、暖房エネルギーが 1/3 になるなど大幅に小さくなります。建築費の増額分はランニングコストが減ることで、結果的にお得です。これから永く快適に住むことを考えれば、住宅の断熱気密のコストは安い投資になるでしょう。

オリジナル家具と建具、ステンドグラス、木の香りがする四季を通じて快適な家

寒くなってきましたが、12 月 6、7 日に見学会を行います。

省エネで、四季を通じて快適な家をどうぞご覧ください。